

令和3年度 中間貯蔵事業技術検討会(第1回) 議事要旨

1. 日 時：令和3年10月11日(月) 14:30~16:30
2. 開催方法：WEB オンライン開催/JESCO 本社5階A会議室
3. 出席委員：森田委員長、大迫委員、勝見委員、国包委員、吉岡委員
(オブザーバー) 環境省
4. 議 題
 - (1) JESCOにおける令和3年度 技術検討業務について
 - (2) その他

5. 要 旨

中間貯蔵事業における「令和3年度 技術検討業務」として、中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略において今後注力すべき処理技術とされている灰洗浄処理技術の実事業への移行に関する技術的な検討を進めるための飛灰洗浄技術実証事業、灰処理生成物である熔融スラグの再生利用に向けた技術的調査・検討、除去土壌等の減容等技術実証事業及び、減容化・再生利用と復興を考える知のネットワークについて報告・説明した。飛灰洗浄技術実証事業については、放射線管理や廃水処理に注意を払うこと、また、除去土壌等の減容等技術実証事業については、2024年度までに減容・再生利用に関する基盤技術開発を一通り完了することを目指すために、今後取り組む対象分野に関して、委員からご意見・コメント等をいただいた。

その他の議題として、飛灰洗浄技術実証に係る分科会の設置について(案)を説明し、「中間貯蔵事業技術検討会」のもとに分科会の位置づけで、飛灰洗浄における技術的課題に関して有識者から助言を得るための組織として、「飛灰洗浄技術検討委員会」を新たに設置することを承認された。

また、除去土壌の再生利用に係る植物栽培試験事業に関しても有識者から助言等を得るために分科会を設置していくことの方角性が確認された。

以上